第２３回市民自治推進委員会　産業躍動部会会議録

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和元年　８月　１日（木）１８時００分～ |
| 開催場所 | アーニス２階会議室 |
| 出席者 | （部 会 長）川田　弘教  （部 会 員）小川　昌宏、宮下　裕次、安達　陽子  （アドバイザー）荒川　昌伸  （庁内委員）森元　俊明  （事 務 局）大越　智輝、塚崎　翔太  （オブザーバー）北海道登別明日中等教育学校の生徒３名 |
| 欠席者 | （副部会長）吉田　武史  （部 会 員）鈴木　高士、近井　一夫  （庁内委員）大澤　玲裕 |
| 議題 | 地場産品を活用した料理教室、未活用資源の観光商品化について |

【地場産品を活用した料理教室について】

・前回の部会開催後、７月１６日（火）に部会長・安達部会員・登別温泉調理師登庖会・事務局で話し合いの場を設けた。

・事業は登別消費者協会、登庖会、ホクレン、市民自治推進委員会の共催とする。

・登庖会や会場の都合を勘案し、料理教室の日程は１１月１７日（日）１０時～１３時とする。

・ホクレン事業の枠で北海道の牛乳または乳製品を使用した料理を４品、市民自治推進委員会の枠で地元の食材を使った料理を１品作る。

・メニューの詳細や必要な食材については登庖会が案を作成する。

・当日配布資料のうちレシピ部分は登庖会が作成し、それを消費者協会が取りまとめる（市民自治推進委員会枠のメニューはホクレンに報告できないため別刷りとする）。

・ホクレン事業枠の食材は登庖会が購入し、領収書を登別消費者協会へ渡す。市民自治推進委員会枠の食材は、登庖会が必要なものを市に伝え、市が購入する。

・参加費は７００円（登別消費者協会の会員は５００円）とする。

・広報１１月号に募集の記事を掲載し、申込締切は１１月１２日とする。

・広報掲載依頼及び申込受け付け、会場利用申請は登別消費者協会が行う。

・募集人数は３０～４０人とする。

【未活用資源の観光商品化について】

・登別地区に特化したツアーを作る。最初におおまかな地点と時間を決め、１０月に部会員で現地の下見を行い、そこで出た反省などを踏まえてコースを組むこととする。

・ツアーの原案を次のとおりとする。

　登別駅に集合→登別漁港と水揚げの様子を見学→登別漁港で日の出（１０月は５時５０分頃）を見る→フンベ山散策→登別川で鮭の遡上を見る

　テーマは「ピクニックツアー」。

・下見に際して、川田自動車工業㈱のバスで移動する。

・港と水揚げの様子の見学については、時期などにより時間や内容が変わるため、次回の部会開催までに宮下部会員に調整していただく。

・調整結果に従って事務局が原案を作成し、それをベースに具体的なスケジュールを組む。

【次回について】

●日程：９月２４日（火）１８：００